情報学委員会 ITの生む諸課題検討分科会
第24期・第6回議事要旨

開催日：令和元年9月4日（水）12時—13時

会場：日本学術会議5階5-A(1)会議室

出席者：

荒川先生（スカイプ）、笠原先生、木俵先生、喜連川先生、柴山先生、下条先生（スカイプ）、須藤先生、柘植先生、灘本先生、萩田先生（スカイプ）、東野先生、間瀬先生（スカイプ）、松本先生、安浦先生、安信先生（敬称略、50音順）

議事等

（1） 15名の出席があり、定員の過半数を満たし、分科会は有効に成立をしたことを確認した。

（2） 9月4日開催の公開シンポジウム「災害時におけるICTの役割・反省・今後」について

開催趣旨

近年我が国は数多くの自然災害被害を受け、様々な防災・減災の取り組みがなされている。ICT技術や携帯網の急速な進展に伴い、災害発生後の新たな情報伝達の仕組みも構築されてきている。一方で、電力網や通信網の遮断時に社会不安が増大したり偽情報が伝搬したりするなど、新たな問題も生じてきている。本シンポジウムでは、このような状況を今一度見つめ直し、ICTの役割について改めて考えるとともに、その限界を直視し、今後について議論する。

参考：糖質参加者：165名、欠席：46名、合計211名

（3） 今後のシンポジウムの開催について

教育におけるSTEMあるいはSTEAMについて、データの在り方、ITの使い方、IT社会基盤、プライバシーの在り方、ITとエネルギー消費の在り方などについて意見交換を行った。

（4） 冬の情報学シンポジウムについて

現在、東野委員、木俵委員を中心に検討を進めていただいている。

（5） その他

特になし

（文責）須藤修